

1 題材名 聞き方名人になろう

2 題材について

(1)題材観

本題材では、特別支援学校学習指導要領自立活動の内容に示されている「人間関係の形成」「コミュニケーション」に焦点をあて、個々の課題を解決できるよう、「聞き方名人になろう」という題材を設定し、「聞く力」をつける SST に取り組む。学校生活において教師の指示を聞いて行動する場面は多くあり、集団生活に不安のある生徒にとって、大事なスキルだと考える。また、今後社会にでた際にも指示を聞いて行動できる力を身に付けさせることは重要だと考える。そのために、普段何気なく行っている「聞くこと」に重点を置き、客観的に自分を見つめられる活動を取り入れ、「相手を見る」「うなづく」「最後まで聞く」「質問する」などのスキルを身に付け、実生活に役立つ能力として養っていききたい。

(2)生徒観

本学級の生徒は、6 名であり、本題材は、そのうちの 3 名に行う。3 名とも日によって気持ちの浮き沈みはあるものの落ち着いた態度で学習に臨むことができる。3 名の生徒の状況や背景は異なるが、他者とのコミュニケーションにおいて共通の課題があり、これからの社会生活を円滑に送ることができるよう課題解決の糸口として、自立活動の時間に SST を取り入れることで、他者と関わり方を身に付けさせたい。

(3)指導観

指導においては、自分の話し方や聞き方を客観的に見る機会がないことを踏まえ、ICT 機器でその様子を確認することができる活動を取り入れる。ロールプレイで「上手な聞き方」を行い、目標となるスキルを確認し、3 人で練習をする。人の話を聞くときに、内容を聞き取ることはもちろん、相手に「聞いている」という意思表示をすることはマナーとしても大切で、円滑なコミュニケーションの形成につながることを理解させたい。また、言葉を発しなくても聞き方次第で自分の意思を相手に伝えることができることを実感し、今以上に自信をもって生活していけるようにしていく。

3 生徒の実態と個別目標

	題材における実態	題材における目標
A	- 人の話を最後まで聞かずに、自分のことを話してしまうことがある。 - 課題に対し、指示されたことを理解して、取り組むことが難しい。	- 人の話を途中で遮らずに、最後まで聞くことができる。【3-(1)】 - 指示を聞いてもわからなかったことを質問して解決することができる。【6-(5)】
B	- 興味のあることには、積極的に取り組むことができるが興味のないことには、取り組むことが難しい。 - 話を聞いているのかどうかの意思表示が相手に伝わらない。	- 自分や相手について興味をもって活動に参加することができる。【3-(2)(3)】 - 話を聞くときのマナーを知り、聞く態度から相手に意思表示することができると理解することができる。【6-(4)】
C	- 落ち着いて人の話を聞くことはできるが、内容を理解するまでに時間がかかる。 - 少人数の中では、自分の考えを相手に伝えることができる。	- 聞いてもわからなかったことについて、そのままにしないで、質問して解決することができる。【6-(1)】 - 聞き手の前で、自信をもって話をするすることができる。【3-(4)】

4 指導計画と評価（全 4 時間扱い）

時	主な学習内容・活動	評 価		
		A	B	C
1	上手な聞き方を知る	上手な聞き方とは、受容的に聞いていることを態度で表現しながら聞くことであることを理解できる。		
2	相手の言葉を正確に聞く	話を聞く意識を高め、相手の話を最後までよく聞いて内容を理解し、正しく行動することができる。		
3	聞き取れなかったときの対処法を知る	困ったときはそのままにしないで、もう一度聞きなおす、近くの人に聞いてみるなどが大切であることを理解することができる。		
4 本時	上手な聞き方を実践する	人の話を途中で遮らず、最後まで聞くことができる。	話を聞いていることが相手に伝わる意思表示ができる。	わからないことについて、そのままにせず、確認することができる。

5 本時の学習

(1) 個別の目標

A：人の話を途中で遮らず、最後まで聞くことができる。

B：話を聞いていることが相手に伝わる意思表示ができる。

C：わからないことについて、そのままにせず、確認することができる。

(2) 準備・資料

タブレット、ワークシート

(3) 展開

学習内容・活動	教師の指導・支援と評価（◎評価）		
	A	B	C
1 あいさつをする。	・姿勢を正してあいさつをするように伝える。	・机上の準備物を整えあいさつをするように伝える。	・自信をもって号令をかけられるようにする。
2 学習課題を確認する。 聞き方名人になろう	・前時までの学習内容を振り返り、話を聞いていることが相手に伝わる聞き方ができることが本時のゴールだということを提示する。 ・本時の流れを板書し、見通しをもって学習できるように支援する。		
・上手な聞き方のポイントを確認する。	・人の話を最後まで聞くことの大切さを確認し、本時の目標達成を目指せるようにする。	・うなずきや相手の目を見て話を聞くことの大切さを確認し、本時の目標達成を目指せるようにする。	・わからないことがあったら、質問をして確認することを伝え、本時の目標達成を目指せるようにする。
3 ロールプレイで実践する。	・学校生活において実際にある場面を設定することで、今後同じような状況になった際に生かせるようにする。 ・先生役に戸惑うことを想定し、まず教師が実際にやってみることで、安心して役を演じることができるようにする。		
4 録画をしたものを確認する。	・自分の聞き方を客観的に見ることで、よいところや悪いところも気が付けるようにする。 ・全体で録画を確認することに抵抗がある場合も考えられるので、個人のタブレットで記録し、個人で動画を確認できるように配慮する。 ・友達のロールプレイで気が付いたことを発表してもらうことを予め伝えておくことで安心して発表することができるようにする。		
① 自分で考える。	・話を聞くときの姿勢や態度に注目するポイントを伝え、自分の動画を確認できるようにする。	・話を聞くときの目線に注目して自分の聞き方を振り返ることができるように声をかける。	・わからないことがあったら質問してよいことを伝えておくことで安心して参加できるようにする。
② 友達の意見を聞く。			
③ 自分の考えをまとめる。	◎人の話を途中で遮らず、最後まで聞くことができたか。（ワークシート）	◎話を聞いていることが相手に伝わる意思表示ができたか。（ワークシート）	◎わからないことをについて、質問・確認することができたか。（ワークシート）
5 振り返りをする。	・自分の言葉で今日の学習を振り返れるように励ます。	・最後まで参加できたことを認め、達成感をもてるようにする。	・考えを発表できたことを認め、自信につながるようにする。
6 あいさつをする。			

